

記録
16ミリ
カラー／15分
日・英・露・中国語版

■企画
大成建設株式会社

スタッフ

■製作
村山英世
■脚本・演出
村山正実
■撮影
村山和雄
江連高元
■解説
井川良久

積層工法がどのような工法であるかを超高層ビルの建設を通してわかりやすく説明し、専門家だけでなく、一般の人々にも理解できるよう描いている。



超高層ビルの建設手順としては、鉄骨を下から最上階まで積み上げ、それから下の階から順次仕上げを進める方法が一般的であった。ところが積層工法は、従来の工法にくらべて、工期が3分の2、人員が2分の1という合理化、省力化が特徴である。しかも都会にあった静かな工法である。

積層工法の最大の特徴は、建物をワンフロアごとに完成していくことにある。この工法を支えるものは、部材のプレハブ化である。

東京の四谷と赤坂の間に建つホテルニューオータニ。このホテルの場合、敷地内工場から、ホテルの設備関係を含めてすべて量産化し、4台のクレーンで1ヵ月に5フロアのスピードで40階を組み立てていく。